

## ＜先週の説教から＞

### 『黙示録⑩ーハルマゲドンに』

ゼカリヤ書 12:9~14 ヨハネの黙示録 16:12~21  
今日の聖書の箇所「ハルマゲドン」という言葉が登場しています。キリスト者だけでなく、世の中でもよく知られた言葉となりました。それはオウム真理教の教祖であったA氏が、人類最終戦争のことを《ハルマゲドン》と呼んで1995年11月11日に起こると言い出したからです。そして信者たちを武装させ、あの地下鉄サリン事件を1995年3月20日に起こしました（元々はノストラダムスの預言でそのように用いられたようですが）。以来、世の中的には《ハルマゲドン》という言葉で、人類が終わる時のことを表す暗号のように使われています。しかし本当はそうではないことを私たちは正しく知るべきでしょう。

まず12節「第六の天使が、その鉢の中身（＝神様の怒り）を大きな川、ユーフラテスに注ぐと、川の水がかれて、日の出る方角（＝東）から来る王たちの道ができた」の意味を見ましょう。ユーフラテス川は当時、イスラエルが活躍した場所とまだ知らない場所とを隔てる境界線でした。この川の向こうには出会ったこともない異国の諸王国があると考えられていたのです。その諸王国が川を越えて侵入して来ることになるという預言なのです。しかもそれを神様がわざわざ「川をかれ」させて呼び寄せられるのだと。これは出エジプトの時と真逆です。あの時は、海をからして神の民を向こう岸に渡らせました。今度は、招き入れるために川を枯らすと。なぜかと言えば、ここに神様と敵対する「全世界の王たち」をすべて集めるためです。そしてその上で一網打尽にされるためなのです。まさしく最終の決戦へとなされるのです。そのための準備なのです。また、集められるのは「全世界の王たち」だけでなく「汚れた三つの霊」も出て来ます。まさに「全能者である神の大いなる日の戦い」が始められるということなのです。

そして、その戦いの場所が《ハルマゲドン》なのです。即ち「汚れた霊どもは、ヘブライ語で『ハルマゲドン』と呼ばれる所に、王たちを集めた」とあるように。従って、日本の歴史で言えば、天下分け目の戦いが行われた（関ヶ原）と同じだと考えて頂ければ分かりやすいと思います。

この言葉は「ハル」と「マゲドン」に分けられ、ハルは（山や丘）を指し、マゲドンは（メギドの）と訳せます。つまり《ハルマゲドン》とは（メギドの丘）という意味なのです。そしてメギドとは、エルサレムから北に約100キロ離れたイスラエルの町の名前です。

メギドの町の周辺は昔からイスラエルが諸外国と戦った古戦場です。例えば、士師ギデオンがミディアン人の大軍と戦ったのがこのメギド平野（＝イズレエル平原）であり、近隣の東にはデボラとバラクがカナン人を打ち破ったタボル山、南にはサウル王とヨナタンがペリシテ人と戦ったギルボア山、そして西には預言者エリヤがバアルの偽預言者450人と戦ったカルメル山があります。まさに一大古戦場と言い得るでしょう。そして何よりこのメギドの丘＝ハルマゲドンで起こったのが、ヨシヤ王とエジプト軍との激戦でした。この戦いで若くして王となり、良き政治を行い、名君と誉れ高く、国中の偶像礼拝所をすべて取り除く宗教改革を断行したヨシヤ王が戦死するのです。彼の死を民は深く惜しみ、ヨシヤ王のことを語り伝えたことを歴代誌下35章で記されています。即ち「ユダとエルサレムのすべての人々がヨシヤの死を嘆いた。エレミヤはヨシヤを悼んで哀歌を作った。男女の歌い手がその哀歌によってヨシヤを語り伝えるようになり、今日に至っている。それがイスラエルの定めとなり、歌は『哀歌』に記されている」と。

従って、このメギドの丘＝ハルマゲドンに神様が最後の戦いの場所を定められた理由は、ここで真の王キリストが勝利されることを示し、同時にこれまで語り伝えられて来たヨシヤ王の死という哀しい歴史が癒されるためであるとも言い得るのです。まさに悲しい記憶と結びついている場所が、新しく喜びで満たされることで癒されるのです。

今日読みましたゼカリヤ書には「その日、エルサレムにはメギド平野におけるハダド・リモンの嘆きのように大きな嘆きが起る。大地は嘆く」とありました。メギドでのヨシヤ王の死と同じような嘆きがエルサレムで起こるといふ預言です。これはまさにイエス様の十字架上の死を預言した言葉ではないでしょうか。あの時、ゴルゴダの丘は限りない哀しみに満たされたのでした。しかし、神様はその場所を私たちの罪が赦された栄光の丘に変えてくださったのです。ハル・ゴルゴタ（＝ハル・カルバリ）の悲しい歴史が、栄光で塗り替えられ、みごとに癒されたのです。

私たちキリスト者にとって、悲しみの場所が栄光の場所に変えられるという体験は、まさに《お墓》に於いて経験する出来事ではないでしょうか。悲しみの場所が、天へと向かう復活の場所となるのです。それを可能にして頂けるのは、イエス様の十字架と復活以外ありません。主が葬られた場所から、復活して下さったことにより、お墓はもはや忌むべき、悲しい場所ではなくなったのです。天での再会を望める、希望の場所へと癒されたのです。

No. 62 - 12

# 週報

2020年度 教会標語

「生活の真ん中に礼拝する心を！」

2021年 3月 21日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>